

令和3年度全国学力・学習状況調査結果について

郡山市教育委員会

1 調査の概要

(1) 調査目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査内容

- ① 教科に関する調査：()内は問題数
 - 小学校：国語(全14問)、算数(全16問)
 - 中学校：国語(全14問)、数学(全16問)
- ② 質問紙調査
 - 児童生徒質問紙・・・児童生徒に対する調査
(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査)
 - 学校質問紙・・・学校に対する調査
(指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備等に関する調査)

(3) 調査対象

- ① 小学校(義務教育学校前期課程を含む)：51校(6年生 2,568名)
- ② 中学校(義務教育学校後期課程を含む)：27校(3年生 2,606名)

2 調査結果の公表

- 各教科における平均正答率(各教科の問題数に対する正答数の割合)
- 各教科における結果と課題及び改善策
- 質問紙調査の結果と改善策(本市の特徴を表す項目を抜粋)

学校においては、知識及び技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等の育成のほか、豊かな心や健やかな体の育成にも取り組んでおり、大きな成果をあげているところです。本調査の結果は、特定の教科の一部であり、学校における教育活動の一側面を表したものではありませんが、上記調査目的をふまえ、これからも保護者や市民の皆様と連携し本市学校教育の一層の充実に努めてまいります。

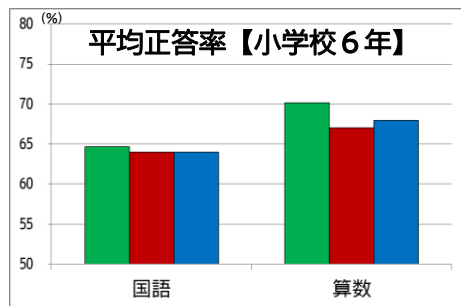
3 調査結果

(1) 結果概要

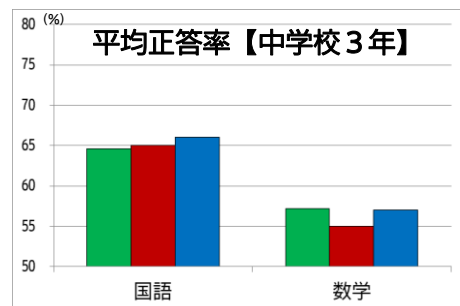
今回の調査における郡山市児童生徒の平均正答率は、以下のような結果となりました。

- 小学校6年 … 国語が全国平均と同程度で、算数は全国平均を下回っています。
- 中学校3年 … 国語が全国平均をやや上回っており、数学は全国平均と同程度となっています。

(2) 各教科における平均正答率(各教科の問題数に対する正答数の割合)



教科	国語	算数
問題数	14	16
全国	64.7%	70.2%
福島県	64%	67%
郡山市	64%	68%



教科	国語	数学
問題数	14	16
全国	64.6%	57.2%
福島県	65%	55%
郡山市	66%	57%

(3) 各教科における結果と課題及び改善策

① 本市における各教科の結果と課題、改善策

【小学校6年】

	結 果	課 題	改 善 策
国語	<p>平均正答率は、全国平均と同程度です。</p> <p>「書くこと」の領域は全国平均を2.5ポイント上回っています。</p> <p>「読むこと」の領域は全国平均を3.4ポイント下回っています。</p> <p>国語科において「書く力」の指導を重点的に行ったこと、他の教科でも自分の考え等を書く活動を意図的に行ったことなどにより、前回の結果から改善傾向が見られました。</p>	<p>「読むこと」については、文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握することに課題があります。</p> <p>また、目的を意識して、中心となる語句や文を見つけて要約することにも課題があります。</p> <p>*問題番号 ・ <u>2</u>一 ・ <u>2</u>四</p>	<p>文学的文章や説明的文章を読む際には、書き手の意図を捉えた上で文章全体の構成を把握し、何が、どのように書かれているかを考えるように指導します。</p> <p>また、文章全体から必要な部分を選び、文章全体の内容を短くまとめたり、友達に端的に説明したりする言語活動を多く設定します。</p>
算数	<p>平均正答率は、全国平均を下回っています。</p> <p>すべての領域において、全国平均を下回っており、特に「図形」の領域が全国平均を3.7ポイント下回っています。</p>	<p>「数と計算」の領域では、示された除法の式と商の意味の理解に課題があります。</p> <p>「図形」の領域では、必要な情報を図形から選び出すことや、図形を分割して並び替えても面積は変わらないといった図形の性質の理解に課題があります。</p> <p>*問題番号 ・ <u>1</u>(3) ・ <u>2</u>(1)</p>	<p>数量の関係を言葉、図、表、式と関連付けて捉えて正しく立式することや、式や答えが何を表しているか考察する活動を多く設定します。</p> <p>また、観察や作図、操作活動をとおして図形を構成要素や性質に着目して捉える活動や、図形の計量について筋道を立てて説明する活動を多く設定します。</p> <p>学習内容の定着を図るために、毎時間、適用問題を解く時間を確保します。</p>

【中学校3年】

	結 果	課 題	改 善 策
国語	<p>平均正答率は、全国平均をやや上回っています。</p> <p>「話すこと・聞くこと」の領域は全国平均を2.2ポイント上回っています。</p> <p>「書くこと」の領域は全国平均を1.3ポイント上回っています。</p> <p>「読むこと」の領域は全国平均を1.7ポイント上回っています。</p>	<p>「書くこと」については、書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係を捉えて文章をまとめることに課題があります。</p> <p>また、「読むこと」については、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことに課題があります。</p> <p>*問題番号 ・ <u>2</u>一 ・ <u>3</u>四</p>	<p>授業の中に、文章を詳しく読んで得た新しい考え方や見方を、他者に説明したり文章にまとめたりする活動を多く設定します。また、自分で書いた文章を推敲する場も設定し、語句の使い方、段落の設け方、段落相互の関係、全体と部分の関係などについて検討し、自分の考えを正しく伝える表現になっているか推敲する言語能力を育てます。</p>

数学	<p>平均正答率は、全国平均と同程度です。</p> <p>「関数」の領域は全国平均を1.0ポイント上回っています。</p> <p>「図形」の領域は全国平均を1.6ポイント、「数と式」の領域は全国平均を1.3ポイント下回っています。</p>	<p>「図形」の領域では、図形の性質を数量の関係に着目して捉え直し、その特徴を言葉や数、式、表などを用いて表現することや、事柄が成り立つことについて、根拠を明確にして説明することに課題があります。「数と式」の領域では、目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することに課題があります。</p> <p>*問題番号</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 ・ 6 (2) ・ 9 (1) 	<p>図形の学習では、関数の視点から図形を考察する場面を設定することや、何を示せばよいかを明らかにし、着目すべき性質や関係を見出す活動を取り入れることで根拠を明確にして説明する機会を多く設定します。</p> <p>数に関する事象を考察する場面では、成り立つと予想した事柄について、文字式や言葉を用いて解決するための見通しをもち、解決の過程で根拠を明らかにして説明する活動を多く設定します。</p> <p>学習内容の定着を図るために、毎時間、適用問題を解く時間を確保します。</p>
----	---	---	--

(4) 質問紙調査の結果と改善策

① 児童生徒質問紙

【「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計が80%以上、または全国と比べて割合が上回っているなど、成果が見られた主な項目】

質 問 事 項	郡山小	全国小	郡山中	全国中
学校に行くのは楽しいと思えますか	84.0	83.4	81.4	81.1
将来の夢や目標をもっていますか	81.2	80.3	73.9	68.6
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.5	96.8	96.2	95.9
人の役に立つ人間になりたいと思えますか	95.4	95.5	95.9	95.0
人が困っているときは、進んで助けていますか	88.8	88.7	90.0	88.5
友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	95.3	95.5	97.0	96.5
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	80.5	74.0	71.0	63.5
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く) ※一日に少しでも読書をする児童生徒の割合	81.3	75.9	65.9	62.5
普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)を読みますか ※1時間以上と答えた割合	75.4	76.2	68.4	80.0
新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか	59.8	55.2	65.7	62.8
新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていただけましたか	66.6	63.1	52.7	48.4

【「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計が50%以下、または全国と比べて割合が下回っているなど、課題が見られた主な項目】

質 問 事 項	郡山小	全国小	郡山中	全国中
自分には、よいところがあると思えますか	73.6	76.9	75.0	76.2
今住んでいる地域の行事に参加していますか	56.6	58.1	35.0	43.7
自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか	69.9	70.3	72.3	75.2
新聞を読んでいますか	28.4	29.5	24.1	23.0

「学校に行くのが楽しい」「夢や目標をもっている」など、前向きな考えをもっている児童生徒が多くみられます。また、「いじめはいけない」「人の役に立ちたい」「人が困っているときは助けたい」と答える児童生徒が多く、道徳的心情が育っていることがわかります。さらに、家庭学習、読書習慣、テレビゲームの時間の管理など、生活習慣の向上が認められます。

今後は、「自分にはよいところがある」という自己肯定感を育んでいくことや、家庭学習の内容について、学校と家庭の連携を図りながら指導を充実させていきます。

新型コロナウイルス感染拡大防止による休校期間については、全国との比較から、学習に関する不安を感じながらも、日頃から学校・家庭で指導を受けていたことを生かし、規則正しい生活に努めていたことがわかります。

② 学校質問紙

【「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計が90%を上回っている主な項目】

質問事項	郡山小	全国小	郡山中	全国中
調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、授業の中で目標（めあて・ねらい）を児童生徒に示し、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか	100	98.3	100	97.8
調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行いましたか	100	98.7	100	98.6
学校として、業務改善に取り組んでいますか	100	97.5	100	96.4
学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	100	98.7	100	98
コンピュータなどのICT機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができていますか	98	90.4	100	88.6

【「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計が70%を下回っている主な項目】
 （小・中どちらかあるいは両方が70%を下回っている主な項目）

質問事項	郡山小	全国小	郡山中	全国中
調査対象学年の児童生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	62.7	68.3	51.8	75.6
地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか	47.1	73.3	48.1	63.3

すべての学校で、ねらいを明確にした授業を行うとともに、児童生徒一人一人のよさを認める評価を行っています。

1人1台のタブレット端末が整備され、各クラスで積極的に活用した授業が展開されています。児童生徒一人一人の学習状況に合わせたドリル学習や調べ学習、ICT機器の活用により自分の考えを可視化して友だちと共有する学び合う授業が展開されています。

また、各学校では、自校の課題を職員間で共有し、組織で課題解決に取り組むとともに、学校運営協議会を設置し、学校と保護者、地域住民が意見を出し合っって子どもたちの豊かな成長を支える地域とともにある学校づくりを進めています。

(5) 各学校における改善策等

郡山市教育委員会は、各学校が以下の取組を推進することができるよう、支援を継続してまいります。

- ① 各学校では、本市の結果分析や各教科の改善策の他、自校の問題毎、領域別、問題の類型別の正答率など、より詳細な分析をとおして、「基礎学力向上プラン」の見直しや日常の授業改善を図り、児童生徒一人一人の学力の向上に努めます。
- ② 11月8日に予定している「第2回郡山市学力向上支援事業全体会議」において、学力向上に有効だった各学校の対策や取組等について協議し、その内容を自校の指導方法の改善に役立てるとともに、小中学校の連携を図った取組の充実に活かしていきます。
- ③ 児童生徒に配付される個人票を活用して、これまでの学習を振り返り、成果と課題を明らかにしたり、改善のための目標を明確にしたりする機会を設けることにより、自分で学習や生活を改善する力である「自己マネジメント力」を育成します。

* 文部科学省が公表している資料については、国立教育政策研究所ウェブページをご覧ください。

「令和3年度 全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料について」

(URL <https://www.nier.go.jp/21chousa/21chousa.htm>)

「令和3年度 全国学力・学習状況調査 報告書・調査結果資料」

(URL <https://www.nier.go.jp/21chousakekkahoukoku/>)

令和3年度全国学力・学習状況調査【小学校】調査結果

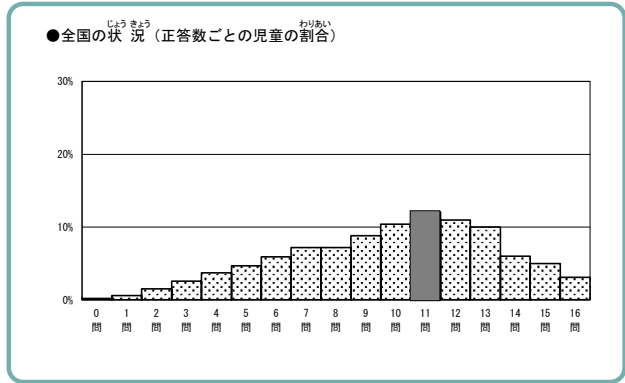
学校名	個人番号	組	氏名
□□□□□立◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇学校	1 0 0 0 5 6 7	01	

算数

正答数
11 / 16問

全国の平均正答数
9.0問

学習指導要領の領域 ※1	正答数	全国の平均正答数
A 数と計算	3 / 4問	3.0 / 4問
B 図形	2 / 3問	2.0 / 3問
C 測定	3 / 3問	2.0 / 3問
C 変化と関係	2 / 3問	2.0 / 3問
D データの活用	3 / 5問	3.0 / 5問



問題形式	正答数	全国の平均正答数
選択式	3 / 6問	3.0 / 6問
短答式	4 / 6問	3.0 / 6問
記述式	4 / 4問	3.0 / 4問

●出題内容
算数では、「数と計算」、「図形」、「測定」、「変化と関係」、「データの活用」に関する内容について出題しています。

問題番号	問題の内容	結果	全国の正答率 (%)	学習学年 ※2	学習指導要領の領域 ※3					問題形式
					A	B	C(i)	C(ii)	D	
1	(1) 二つのコースの道のりの差の求め方と答えを書く	○	93.2	1・2 3	★		★			記述
	(2) 500mを歩くのに7分かかることを基に、1000mを歩くのにかかる時間を書く	○	60.5	5				★		短答
	(3) ㊲と㊳の二つの速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ	×	44.1	5					★	選択
	(4) 午後1時35分から50分後の時刻を書く	○	95.2	3			★			短答
	(5) 分速540mのバスが2700mを進むのにかかる時間を求める式を書く	○	78.8	5					★	短答
2	(1) 直角三角形の面積を求める式と答えを書く	×	52.3	5		★				短答
	(2) 直角三角形を組み合わせた図形の面積について分かることを選ぶ	○	60.4	1・5		★	★			選択
	(3) 二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く	○	81.9	5		★				記述
3	(1) 6年生の本の貸し出し冊数を、棒グラフから読み取って選ぶ	○	31.3	3					★	選択
	(2) 学年ごとの本の貸し出し冊数について、棒グラフから分かることを選ぶ	○	75.0	3					★	選択
	(3) 「114」は二次元の表のどこに入るかを選ぶ	×	47.1	4					★	選択
	(4) 帯グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く	○	82.8	5					★	記述
	(5) 5年生と6年生の読みたい本と、多くの5年生と6年生に読まれている本を調べるために、適切なデータを選ぶ	×	68.8	5					★	選択
4	(1) 余りのあるわり算の商と余りを基に、23個のボールを6個ずつ箱に入れていくときに必要な箱の数を書く	○	62.8	3	★					短答
	(2) 8人に4Lのジュースを等しく分けるときの一人分のジュースの量を求める式と答えを書く	×	68.8	4	★					短答
	(3) 30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く	○	62.8	4	★					記述

※1 一つの問題が複数の領域に該当することがあるため、領域の問題数の合計は、実際の問題数と一致しない場合があります。 ○：正答、×：誤答、-：無解答
 ※2 「学習学年」とは、問題に関連する学習指導要領の内容が示されている学年を表したものです。
 ※3 記号C(i)は「測定」、記号C(ii)は「変化と関係」を表しています。